

社会とデザインの関係 本に 「笑顔の伝道師」目指す

アートディレクター 水谷孝次さん

世界中の笑顔の写真を発信する「メリープロジェクト」を手がけてきたアートディレクターの水谷孝次さん。新著「デザインが奇跡を起こす」(PHP研究所)では、社会とデザインの新たな関係について考えを巡らせている。「強い影の時代には強い光があり、その逆もある。特に若い世代に自信を持ってもらえるような本にしたかった」

広告業界の第一線で活躍する中で「世

の中の役に立っているのか」と自問した水谷さん。旅先で撮った子どもの笑顔の写真に「新しい時代のデザイン」の券を感じ取り、悲劇に見舞われた神戸、ニューヨークなどの人々に「あなたにとってメリー(楽しいこと、幸せなとき)とは？」と問い掛けシャッターを押した。

笑顔で世界をつなぐ試みは注目され、北京五輪の開会式でも写真が使われた。「アフリカの奥地でレンズを向けた少女に「私にとってのメリーはあなた」と言われた。人を幸せにすることが究極のデザインと実感した」と水谷さん。病院や農業など、これまでデザインされてこなかった場に活動を広げている。「笑顔の伝道師になりたい」とほおを緩めた。



新著を手に笑顔のアートディレクター水谷孝次さんー東京都港区